

日本テコンドー協会 約45年間の歴史上初！

J T A レインボーマン (昇級時、髪の色を昇級帯の色に変身) ！！

木内敢登 (横浜市立大学体育会テコンドー部主将)

2025年5月、日本テコンドー協会約45年の歴史上 (前進団体含む)、初のレインボーマンが誕生しました

河 明生 J T A 会長談話

「2023年春、東京城南道場審査時、白帯受験生の中に、ゲゲゲの鬼太郎似の銀髪の青年がおりました。審査終了後、銀髪がまったく似合わないのに、ニコニコしており、興味がわき突発的に提案しました。氏名が不明だったため

ー ブラッシー君！ (昔、活躍した反則の噛みつきが得意だった銀髪の白人プロレスラー。
対戦相手は顔面血だらけとなり、TVで観た老婆がショックで死亡した)

多分、白帯だから帯の色に合わせて銀髪にしたに違いない。

男なら審査に合格し黄帯 (7級) になったら頭髪は黄色にしろ (写真1)

その次は緑色 (6級。写真2)、次の次は緑色 (5級。写真3) → 紫色 (4級。写真4)

→ 青帯 (3級。写真5) → 赤帯 (2級。写真6) → 茶帯 (1級。写真7) と昇級の都度、
昇級した帯の色に髪を染めて精進し、黒帯・初段になったら元に戻ろ！

青年はニカニカッと微笑みながら、

ー はい！ 頑張ります！！

以来、彼は精進して初志貫徹、見事、史上初のレインボーマンとなりました。」



7級・黄色帯時のイエロー髪





6 級・水色帯時のスカイブルー髪



5 級・緑色帯時のグリーン髪



4 級・紫色帯時のパープル髪



3 級・青色帯時のブルー髪



2 級・赤色帯時のレッド髪



1 級・茶色帯時のブラウン髪



初段昇段後、原点に戻ったブラック髪

「J T Aは文武両道を奨励していますが、実はその実現のためには【さわやかな笑い】が不可欠です。

忍耐、根性、気合いだけでは、精神が疲弊してもちませんし、魅力的な人格を涵養することはできません。

一般的に武道家のイメージは【厳しく怖い表情】ですが、J T Aが奨励するのは【さわやかな表情】です。修行中、【さわやかな笑い】があればこそ、人格が陶冶され【さわやかな表情】となって【さわやかな人格】が表徴されうると考えます。

J T A史上初のレインボーマン・木内敢登の【昇段後のさわやかな表情】をご覧ください。

多感な青年期に【さわやかな人格】の基礎が涵養されたと思います」